

～下記の研究を行います～

『急性期病院に入院する認知症患者の退院支援を行う支援者が抱える困難と入院期間延長に影響を与えた要因の検討』

【研究責任者】看護部 東 11 階病棟 副看護師長 太田寛恵

【研究の目的】急性期病院において、認知症及び認知機能が低下している患者さんの退院支援を行う中で支援者が感じている困難や実際に入院期間延長に影響を与えた要因を明らかにし、認知症ケアチームとしてできる問題解決の検討につなげたいと考えています。

【研究の期間】研究許可日～2022 年 3 月 31 日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日の間に入院し、認知症ケアチームが入院中に介入した方。

●研究に用いる試料・情報の種類

試料：ありません。

情報：DPC 情報、年齢、BPSD・せん妄の有無、抗精神薬使用の有無、主疾患に続発した合併症の有無、使用薬剤数、入院前の介護保険申請の有無、介護サービス利用の有無、退院の転帰、入院時と退院時での ADL 変化の有無、キーパーソンの同居の有無、本人・家族と医療者の退院に対する認識等

【研究の資金源】

ありません。

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI (シオーアイ) : Conflict of Interest) とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反については、当院の利益相反審査委員会で審査され適切に管理されています。

- ◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
- ◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
- ◎情報等が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

国立病院機構大阪医療センター

〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14

TEL (06) 6942-1331 (代)

研究責任者 看護部東11階病棟 副看護師長 太田寛恵